

2019～2022 年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーは世界をつなぐ



マーク・ダニエル・マローニー

大島 浩輔

2019～2020 年度
国際ロータリー会長

2019～2020 年度
第 2670 地区ガバナー

小松島ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日[12:30～13:30]

例会場 菊寿殿 おがわ 小松島市小松島町字外開 7-1

TEL:0885-32-0205

事務局 小松島市金磯町 10-19 TEL:0885-33-1211

2019 年 12 月 20 日 第 3333 回例会記録

会員総数	25 名
出席会員	19 名
本日出席率	76.0 %
前回出席率	68.0 %

会長報告 ・芝幹事は欠席です。
(木村 幹男)

幹事報告 会長より:次年度の会長・幹事の研修案内が届いています。
(芝 敏廣)

委員会報告 ・葛原(カウンセラー)会員:昨年度のマイラ奨学生のご主人が卒業後に門学校の教師と教師となります。(SS へ)
・以西会員:勤務先の忘年会のジャンケン大会で優勝。(SS へ)
・寿満国際奉仕委員長:書損じ葉書を、ユネスコの識字率向上のための“寺子屋運動”への協力として 1 月末まで行っています。ここ 2 回欠席しましたので SS へ入れさせていただきます。
・東條 SS 委員長より:岩橋会員より、阿波銀行が東新町に本店営業部開設。
・山下親睦研鑽委員長:新年互礼会を 1/10・19:00 より開催します。

卓 話 東條会員“新聞コラム「成熟社会どう歩く:内山節(哲学者)」”
3 ヶ月ぐらい溜めてきた切抜と講演記事を、紹介、披露します。

◎大阪等でのビルについて、ファッション関係が少なくなり、時代が変わってきた。縄文時代には 4 時間働けば生活ができていた。現在では、老後に 2 千万円必要とのこと。仕事することにより社会との関連性を求めた縄文と現在の差である。

◎江戸時代の終わり頃、フランスで浮世絵を始め日本文化への関心をジャポニスムといわれ、この動きから印象派の画家たちが生まれた。日本の文化や芸術は古代から高いレベルのものを生み出していた。それを隠居と呼ばれた人達、家督を子どもに譲った高齢者たちが、句会を開いたり、茶の湯を楽しんだりするようになり、江戸時代の文化が花開き、後に世界に大きな影響を与えた。

◎現在高齢者の運転について、老人が軽視されている。地方では人口が少なくなっているが、その内都市部でも人口減少が生じる。このまま人口が減ると、1 人当たりの農地等の面積が増える。道路や鉄道も増え、一人当たりの社会的ストックが増加する。問題は今日がストックを有効な価値として生かす社会ではなく、フロー(流動性)に価値をおいた社会になっていることにある。協同体も社会的ストックであり、信用力、付き合いも同じである。



★徳島新聞 切抜コラムの紹介

令和の時代とは、私たちが人口減少と向き合っている時代だと感じている。すでに農山漁村や地方都市では、平成の時代から人口減少が進んでいる。これからは東京のよう大都市でも、この問題に直面していくことになるだろう。

人口が減れば、国内市場は縮小していく。その分を輸出で埋めようとしても、かつての途上国もいまではいろいろなものを生産している。輸出すれば売れるというふうな状況ではない。



成熟社会どう歩く

哲学者 内山 節

江戸時代が終わろうとするころ、フランスでは、浮世絵をはじめとする日本文化への関心が高まっていた。ジャポニスムといわれたこの動きの中から、ゴッホやモネ、ルノワールといった印象派の画家たちも生まれてくる。



成熟社会どう歩く

哲学者 内山 節

社会的ストック蓄積量を増やすことは、00年間継続していかないといけない。その維持が大事になる。ゆえに私個人として市場から退場し、共同体的な絆も人間たちがつくりあげた社会的ストックである。子どもたちが学ぶ場所や町の商店、地域の職人、企業活動、マスコットの存在。企業として増える時代にはうまくいくかもしれない。だが企業が培ってきた信用が縮小していく時代には、利益を上げるための手段としてすべてを売ってしまう。自然や農

失われた隠居の役割

眼ができたことにより大事なものを後世のからである。いまの時増え続けているから、句会を開いた人たちに伝えていった。60歳で隠居という、運転する人の数が増えれば、事故数が増える。だがそれがすべな仕事が生まれていた。だがそれがすべな仕事が生まれていた。だがそれがすべな仕事が生まれていた。だがそれがすべな仕事が生まれていた。

このやり方は、人口ミの存在。企業として増える時代にはうまくいくかもしれない。だが企業が培ってきた信用が縮小していく時代には、利益を上げるための手段としてすべてを売ってしまう。自然や農

2019.3.24

2019.5.12

